

平成30年度 事務事業評価シート（平成29年度 事務事業分）

所属 01050005

健康福祉部

福祉課

事務事業	020102 その他社会福祉総務に関する業務					
	施策体系	020111 （地域福祉）地域福祉体制の充実				
	事業区分1	総務・庶務事務	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務			
対象						
事務事業目的	地域で健やかで、安心して心豊かな生活を送れるように、地域福祉に取り組む。					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画策定 ・福祉事業、施設充実振興費基金積立業務 ・社会福祉法人監査業務 ・その他福祉総務に関する庶務 					
計画法令	橋本のくらしの幸せをつくる委員会条例 社会福祉法					
成果指標	1．社会福祉法人相談件数					
活動指標	1．社会福祉法人への監査件数					
目標達成状況		平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	
	成果指標1	[件]	53.00	12.00	50.00	20.00
	成果指標2	[]				
	活動指標1	[件]	6.00	8.00	4.00	4.00
	活動指標2	[]				
活動指標3	[]					
成果効果	<p>地域福祉の推進には、少子高齢化や核家族化が進み住民相互のつながりが希薄化してきている現在において、地域住民や各種団体、社会福祉協議会等との連携が大切であり、行政と協働しあいながら地域福祉の推進に取り組んでいる。</p> <p>また、地域福祉を担う社会福祉法人等の指導監査については、大きな法改正があったが特に大きな問題も無く、各法人の事務処理等が出来た。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	法人監査は専門性が高いため、正確な法人監査を実施していくための体制作りが必要。担当者は、法人監査の研修等に積極的に参加することで知識を深めている。					

(単位：千円)

		NO	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	10	0	
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	
		地方債	(3)	13,000	0	0	0	
		その他	(4)	2,400	2,400	2,463	2,470	
		一般財源	(5)	2,962	563	2,482	33,708	
	直接費	事業費	(6)	18,362	2,963	4,955	36,178	
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	18,362	2,963	4,955	36,178	
	人件費	人件費	(9)	16,405	18,832	12,540	8,642	
		(正職員数:賦課)	(10)	2.08	2.48	1.88	1.28	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.09	0.11	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	2.17	2.59	1.88	1.28	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	34,767	21,795	17,495	44,820		
	住民基本台帳人口	(14)	65,479	64,793	64,150	63,486		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	531	336	273	706		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	地域福祉計画業務(平成24年度策定)
	2	生活福祉資金利子補給補助事業
	3	県都市福祉事務所長連絡協議会負担金事務
	4	県更生保護協会負担金業務
	5	福祉事業及び施設充実振興費基金積立業務
	6	社会福祉法人監査業務
	7	その他社会福祉総務に関する業務
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成30年度 事務事業評価シート（平成29年度 事務事業分）

所属 01050005

健康福祉部

福祉課

事務事業	020104 民生委員児童委員連携事業					
	施策体系	020111 (地域福祉) 地域福祉体制の充実				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	県費補助事業	事業区分4	法定受託事務		
対象	民生委員児童委員、民生委員児童委員協議会					
事務事業目的	民生委員児童委員と連携した地域福祉の相談・指導体制の充実					
事務事業内容	民生児童委員協議会に補助金を交付し、関係機関や団体、地域住民との連携を密にしながら地域住民の福祉増進を図る。					
計画法令	民生委員法・児童福祉法 橋本市補助金交付規則					
成果指標	1. 相談、支援件数 2. わんパーク参加者数					
活動指標	1. 訪問等活動回数 2. わんパークの開催数					
目標達成状況		平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	
	成果指標1	[件]	3,797.00	4,560.00	4,659.00	4,932.00
	成果指標2	[人]	816.00	699.00	700.00	648.00
	活動指標1	[回]	8,878.00	9,069.00	8,812.00	9,665.00
	活動指標2	[回]	12.00	12.00	12.00	12.00
	活動指標3	[]				
成果効果	地域の身近な相談役として市民の方々から相談を受け、関係機関に繋いでいただいている。また高齢者や障がい者、子どもなどの見守り活動など、市民の皆さんが住み慣れた地域で安全安心に生活ができるよう、日々活動いただいている。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	民生委員児童委員に対する役割が大きくなってきており、負担が大きくなってきている。また、民生委員児童委員の高齢化やなり手不足などの問題が出てきている。					

(単位：千円)

		NO	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	
		都道府県支出金	(2)	10,694	10,708	10,834	10,907	
		地方債	(3)	0	0	0	0	
		その他	(4)	0	0	0	0	
		一般財源	(5)	2,175	1,605	1,875	2,092	
	直接費	事業費	(6)	12,869	12,313	12,709	12,999	
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	12,869	12,313	12,709	12,999	
	人件費	人件費	(9)	6,348	4,984	6,146	5,835	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.80	0.61	0.83	0.80	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.04	0.03	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.84	0.64	0.83	0.80	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	19,217	17,297	18,855	18,834		
	住民基本台帳人口	(14)	65,479	64,793	64,150	63,486		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	293	267	294	297		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名 称
	1	民生委員児童委員協議会補助事業
	2	民生委員児童委員連絡調整事業
	3	その他民生委員に関する業務
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成30年度 事務事業評価シート（平成29年度 事務事業分）

所属 01050005

健康福祉部

福祉課

事務事業	020105 社会福祉協議会連携事業					
	施策体系	020111 (地域福祉) 地域福祉体制の充実				
	事業区分1	補助金交付事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	団体		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	社会福祉協議会、高齢者、障がい者、ひとり親家庭等					
事務事業目的	地域で安心して心豊かな生活を送るため、地域における住民相互の支え合い、助け合い「ともに支えあう福祉のまちづくり」を実現するため、社会福祉協議会と協力連携し、その体制づくりを充実させる。					
事務事業内容	社会福祉事業功労者等の表彰及び記念講演会を開催する。 地域福祉への取組みに対し活動支援をする。 老人講座・子育て支援事業・「なごみ」の発行・ボランティア育成・心配事相談事業・生活資金貸付金事業・災害時安否確認及び要支援情報調査事業・社会福祉活動支援事業					
計画法令	橋本市補助金交付規則 橋本市社会福祉協議会補助金交付要綱 社会福祉法					
成果指標	1. 相談件数 2. 資金貸付件数					
活動指標	1. 心配事相談開催件数					
目標達成状況		平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	
	成果指標1	[件]	60.00	63.00	56.00	48.00
	成果指標2	[件]	11.00	11.00	23.00	15.00
	活動指標1	[日]	60.00	60.00	60.00	36.00
	活動指標2	[]				
活動指標3	[]					
成果効果	<p>少子高齢化や核家族化の進展により住民相互のつながりが希薄化しているため、血縁・地縁のつながりも希薄化しており、地域や家庭での支え合い機能が縮小している。また地域住民の抱える課題は複雑・多様化しており、地域福祉を進めていくには行政だけでは限界があり、相談業務や生活困窮者など、社会福祉協議会と連携・協力しながら、地域福祉を進めていくことは重要である。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	少子高齢化や核家族化が進む中で、住民相互のつながりが希薄化、相談内容の複雑・多様化しているため、今後も利用者が増えると思われるため、相談体制の維持が必要。					

(単位：千円)

		NO	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	
		地方債	(3)	0	0	0	0	
		その他	(4)	0	0	0	0	
		一般財源	(5)	59,600	60,877	49,209	48,168	
	直接費	事業費	(6)	59,600	60,877	49,209	48,168	
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	59,600	60,877	49,209	48,168	
	人件費	人件費	(9)	407	261	247	244	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.08	0.03	0.03	0.03	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.08	0.03	0.03	0.03	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	60,007	61,138	49,456	48,412		
	住民基本台帳人口	(14)	65,479	64,793	64,150	63,486		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	916	944	771	763		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	社規福祉協議会補助事業
	2	社会福祉大会事業
	3	心配ごと相談所開設補助事業
	4	その他社会福祉協議会に関する業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成30年度 事務事業評価シート（平成29年度 事務事業分）

所属 01050005

健康福祉部

福祉課

事務事業	020201 その他地域生活支援事業					
	施策体系	020112 （地域福祉）権利の擁護と制度の周知				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務			
対象	ひきこもり者及びその家族等					
事務事業目的	ひきこもり者及びその家族等への支援					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり者やその家族に、関係機関の情報を提供する。関係機関と連携・協力する。 ・ひきこもり者等への相談支援等を実施している団体を支援する。 					
計画法令	橋本市ひきこもり者支援検討会要綱（平成23年度制定）					
成果指標	1．社会参加（バザー、野外活動等生活体験活動、相談支援、研修会、講演会）回数 2．社会参加（バザー、野外活動等生活体験活動、相談支援、研修会、講演会）のべ人数					
活動指標	1．会議（ひきこもり者支援検討会、ケース会議、担当者会議）開催回数					
目標達成状況		平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	
	成果指標1	[回]	156.00	164.00	201.00	469.00
	成果指標2	[人]	603.00	411.00	430.00	409.00
	活動指標1	[回]	6.00	5.00	6.00	6.00
	活動指標2	[]				
活動指標3	[]					
成果効果	<p>社会的ひきこもり者支援団体「特定非営利活動法人ひきこもり支援サークルとらいあんぐる」は毎週火・木・土曜の週3回、開所し、相談支援・居場所の提供等を行っている。橋本市ひきこもり者支援検討会、同検討会実務者会議を開催した際、毎回とらいあんぐるから実際の現場を基にした意見・助言等をいただいている。</p> <p>また、平成30年1月から、毎週金曜12時から13時まで、保健福祉センターロビーで、利用者とスタッフが一緒に、利用者自身が作ったアクセサリーを販売している。</p> <p>今後も、とらいあんぐるに協力しながら、ひきこもり者に対する取り組みを行う。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>社会的ひきこもり者の実態を把握する必要があるが、本人だけでなく家族にとってモデルケースな問題なため、実態把握が困難である。</p> <p>ひきこもり支援は長期間継続して行う必要があるため、団体への支援が今後も必要である。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	
		地方債	(3)	0	0	0	0	
		その他	(4)	0	0	0	0	
		一般財源	(5)	0	0	0	0	
	直接費	事業費	(6)	0	0	0	0	
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	0	0	0	0	
	人件費	人件費	(9)	1,862	1,457	908	892	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.37	0.15	0.10	0.10	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.02	0.01	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.39	0.16	0.10	0.10	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	1,862	1,457	908	892		
	住民基本台帳人口	(14)	65,479	64,793	64,150	63,486		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	28	22	14	14		

事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	子ども・若者育成支援推進(ひきこもり対策)業務
	2	その他地域生活支援に関する業務
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		